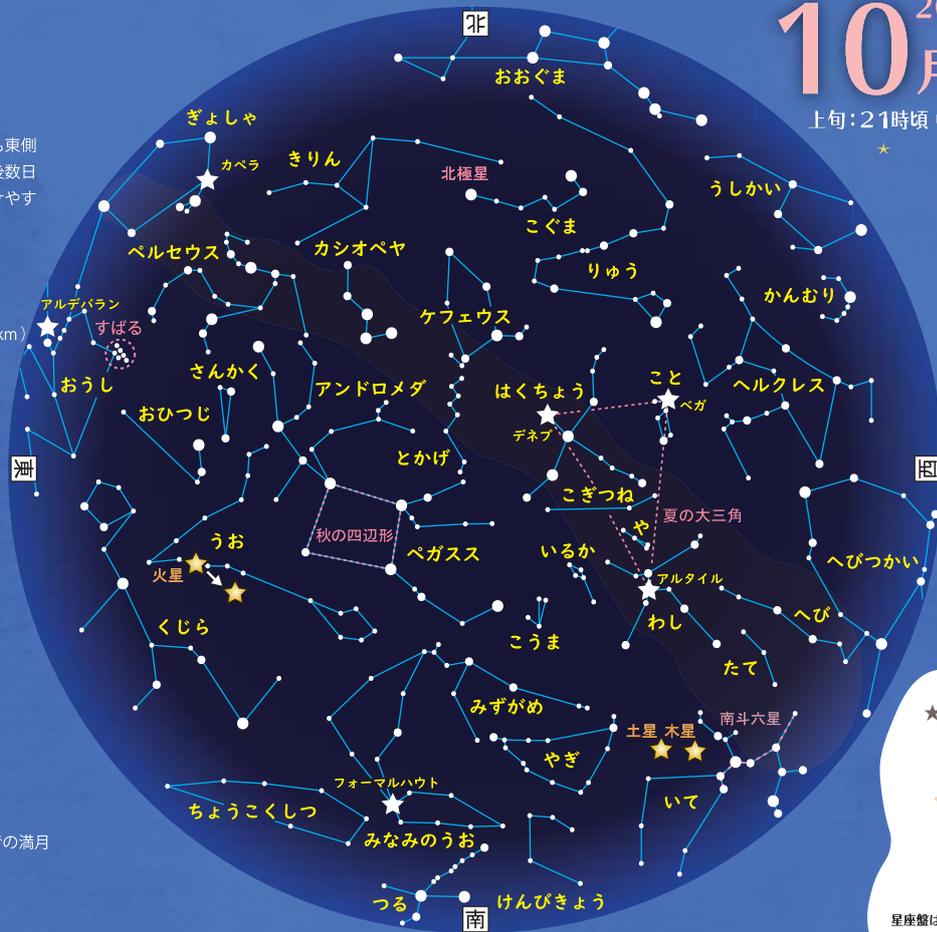


天文現象

- 10/ 1 ちゅうしゅう かいげつ 中秋の名月 (十五夜)
- 10/ 2 満月
水星が東方最大離角
…地球から見て水星が太陽の最も東側にあるとき。東方最大離角の前後数日間は、夕方、西の低い空で見つけやすくなります。
- 10/ 3 月と火星が並ぶ
- 10/ 6 火星と地球が最接近
(2年2か月ぶり、距離約6210万km)
- 10/10 下弦
- 10/14 月と金星が並ぶ
(明け方、東の空)
- 10/15 火星が衝
…地球から見て火星が太陽の正反対の位置にくること。
- 10/17 新月
- 10/23 上弦
- 10/22～23 月、木星、土星が並ぶ
- 10/29 後の月 (十三夜)
月と火星が並ぶ
- 10/31 満月
…今年月と地球が最も遠い位置での満月



- ★ 惑星
- ★ 1等星
- 2等星
- 3等星
- 4等星以下

★星座盤の使い方



星座盤は空にさざして方位を合わせてみて！
空と重ねると…東西の向きが正しくなるよ。

ワンポイント星座



秋の星座探しの手がかりとなる「秋の四辺形」は、ペガサスの胴体のあたりに輝きます。ペガサス座は上半身だけの姿で描かれることがほとんどですが、あまりにも速く空を翔けたので下半身が付いて来られなかったから、というユーモラスな説も伝えられています。

今月のポイント

生解説プラネタリウム
火星 ～赤い惑星～



画像提供: NASA/JPL-Caltech/MSSS(一部改変)

大昔から地球人は、赤く燃えるように見える火星に、強い興味を抱いてきました。ある時は戦争や不吉な出来事の象徴として、ある時は天文学の進歩のヒントとして、ある時は「宇宙人がいるかもしれない」星として、私たちは研究を続けてきたのです。そして現代でも、火星に探査機を送り、謎の解明に挑み続けています。火星とはどんな星なのでしょう？地球人の好奇心をかきたててやまない、赤い惑星についてご案内します。

コラム

中秋の名月、後の月、満月
お月見を楽しもう

みなさんはお月見が2回あることを知っていますか？1つ目は「中秋の名月(十五夜)」と呼び、今年は10月1日です。中秋の名月は、旧暦8月15日にお月見をする風習のことです。もとは中国から伝わりましたが、日本では平安時代に定着し、神々に豊作を願う収穫祈願の文化も生まれました。2つ目は「後の月(十三夜)」。こちらは旧暦9月13日のお月見で、今年は10月29日です。今年のお月見は両方とも10月の間にあります。この2つのお月見のうち、どちらか片方しか見ないことを「片見月(かたみづき)」と呼び、縁起が悪いとされています。ぜひ、お月見は両方をお楽しみください。さらに珍しいことに、今月は満月が2回あります。それぞれの月の様子にご注目ください。



ペガロク ©dwarf/ 多摩六都科学館